

## I 実践

### 1 研究主題

～自分の大切さとともに、他の人も大切にしようとする思いが具体的な態度や行動に表れるような、実践的な態度の育成～

#### (1) 主題設定の理由

思いやりの心を実際の言動として表現することを大切にし、自分の良さを認めるとともに他者の良さを認め合うことで、より良い人間関係を築いていける児童を育てることを目指し、本主題を設定した。

#### (2) 研究の内容

- ① 道徳の時間や特別活動，総合的な学習の時間における人権教育の充実
- ② 体験・交流活動ができる場の設定

### 2 実践内容

#### (1) 道徳の時間の取り組み

本校では、道徳の時間に友達との関わりの中で心に響いたことや嬉しいと感じたことをハートフルカードに書いている。また、カードに書いたことを学級みんなに紹介できるハートフルコーナーを設置し、多くの感動体験や友達の良さを共感できるようにしている。

#### (2) 総合的な学習の時間における体験的な活動

##### ア 全校での取り組み

5年生は、毎年行われている諏訪地区敬老会の手伝いに参加し、会場の案内をしたり、お茶を出したりして、お年寄りとの交流をもった。敬老会では、4年生が「花は咲く」などの合唱、5年生はお祝いの言葉の呼びかけや「ソーラン節」の踊りを発表し、お祝いの気持ちを歌や言葉などで表した。また、敬老会でお年寄りに贈るお祝いの手紙を書く活動を、1年生から6年生までの全校児童で取り組んだ。

##### イ 第5学年の取り組み

「人にやさしく」をテーマに人権尊重の教育に関わる内容を体験的に学んでいる。1学期の福祉体験では、車イスやアイマスク、高齢者の疑似体験などの活動を通して、身体障害者や高齢者の日常生活の大変さを知り、社会的弱者や困っている人にどのような手助けができるか学んだ。2学期は困っている人を助けるために自分たちに何ができるか考え、空き缶回収に取り組んだ。全校児童に呼び掛けて集めた空き缶を換金し、歳末助け合いに募金した。

#### (3) その他の活動

##### ア あいさつ運動

JRC委員会と児童会本部の児童を中心に、毎朝、昇降口であいさつ運動を行っている。給食時間の放送で、児童会本部の児童による「元気な声であいさつをした児童」の発表をしている。人とのコミュニケーションのきっかけとなる挨拶を全校児童に身に付けてほしいという願いから活動を続けている。

## イ 縦割り班活動

全校児童を12のグループに分け、年間を通して様々な集団活動に取り組むことによって、異年齢児童相互の親睦を深めたり、他者への思いやりの心を養ったりすることを目指している。月に1回ロング昼休みの時間に縦割り班活動を行っている。児童会本部の児童と縦割り班の班長・副班長が中心となって、どんな活動をすれば低学年が楽しめるか、低学年が活動を楽しむためにはどんなルールにすればよいか、事前の話し合いの中で協力し合って決めている。

## ウ 集団登下校

年間を通して高学年が班長・副班長をして列の先頭と最後尾について、下級生の歩調に合わせながら安全に登下校している。朝、放課後ともに保護者と地域の方の協力をいただきながら、安全の確保に努めている。

## 3 成果

児童は、敬老会のお祝いの手紙や5年生の総合的な学習の時間の活動後の感想などから、周りの人に対して、思いやりの心をもって接することができるようになってきている様子を感じられた。また、学校内外での様々な体験活動の中でクラスメイト以外の幅広い年齢層との関わり合いから、自分の良さや相手の良さに気付くことができるようになってきていることがハートフルコーナーからうかがい知ることができた。さらに、高学年は「縦割り班活動」などの異学年交流を通して、低学年のことを考えた行動ができるようになってきている。

## II 今後の課題

来年度も引き続き、道徳・特別活動・各教科などの教育活動全体を通して、人権教育を推進していきたい。また、体験活動で養われた人権意識がさらに豊かに育っていくよう学校だけでなく、地域、家庭が協力・連携し合って、児童の一人一人の良さを地域社会全体で認められる環境作りに努めたい。

## III 人権コーナー設置の様子

本年度も全校児童が「人権メッセージ」に取り組み、人権コーナーに各クラスの代表のメッセージを掲示した。また、全学級に「ハートフルコーナー」を設置し、道徳の時間などを活用し、自分の感じたことや友達の良いことを伝え合った。



「人権コーナー」と「ハートフルコーナー」の様子